

リハビリテーション医療・介護連携

Cooperation among medical and long term care rehabilitation services

2018年度診療報酬・介護報酬同時改定では、地域包括ケアシステムの推進が基本的な考え方の1つとして掲げられ、医療・介護の役割分担と多職種での連携をより一層強化するためにさまざまな加算の創設や見直しが行われました。このように国の施策の一環としても医療・介護連携の推進が求められています。そこで、本特集では、リハビリテーション領域における医療・介護連携の現状と課題に続いて、リハビリテーション関連の施設形態のそれぞれの立場から医療・介護連携に関する取り組みについて解説いただきました。

リハビリテーション職に期待される役割と課題

—同一職種間連携、多職種連携の視点から 川越雅弘氏…………… 305

わが国では2040年にかけて高齢者、とくに医療・介護のニーズの高い85歳以上の高齢者の人口が急増するため、医療・介護・生活支援サービスの包括的提供体制の構築と多職種間の連携強化が急務であり、さまざまな施策が推進されている。本稿では、入退院・退所時の連携強化、入院中～退院後の一貫したリハビリテーション提供の促進、および自立支援・重度化防止の推進に焦点を当て、制度改正/報酬改定のポイントとリハビリテーション関連専門職に期待される役割について解説している。さらに同一職種および多職種間の連携強化策について私見を述べている。

急性期病院 小山照幸氏…………… 313

医療機関から在宅・施設への移行を円滑にするために各地域の特性に応じた入退院支援のフローチャートが作成され、その活用が推進されている。東京都健康長寿医療センターでは入院時に早期支援の必要性を判断するため、退院支援スクリーニングを行っている。退院後に在宅医療が必要と見込まれる事例に対しては地域関係者と合同で退院調整カンファレンスを行い、家屋評価をケアマネジャーらとともに実施し、家屋改修や福祉用具の導入を検討している。本稿の最後に、医療スタッフだけでなくケアマネジャーやデイケア担当者を含めた多職種による退院支援を行った1例を提示している。

回復期リハビリテーション病棟 金丸詩門氏ら…………… 319

本稿では、岡山県倉敷地域にある川崎医科大学附属病院の回復期リハビリテーション病棟における医療・介護連携の取り組みを紹介している。川崎医科大学附属病院では、介護保険にかかわる専門職との情報共有は、主として、入院時のケアマネジャーや地域包括支援センター職員による病棟訪問、入院中の家屋訪問、および退院前調整会議にて行われている。その際に、同地域において医療・看護・介護を担う多職種間連携を推進するために作成された「医療・介護連携シート」を活用して情報共有やカンファレンスを行っている。また、同地域の「医療・介護の入退院ルール」についても紹介している。

介護老人保健施設 折茂賢一郎氏 325

介護老人保健施設の根拠法である介護保険法が2017年6月に改正され、介護老人保健施設の定義に在宅支援を行うことが明示された。翌年の介護報酬改定では、病院でのリハビリテーションから老人保健施設でのリハビリテーションへ円滑な移行を推進するため、双方の計画書に互換性のある様式が設けられた。今後、老人保健施設には、個別リハビリテーションだけではなく、生活機能の向上を図るために他者との交流や活動性の確保など多職種が一体となってさまざまな活動を提供し、地域包括ケアシステムにおいて中心的な機能を担うことが期待される。

通所リハビリテーション事業所 岡野英樹氏ら 333

通所リハビリテーションは医学的管理、心身・生活活動の維持向上、社会活動の維持向上および、介護者など家族支援を行う普遍的機能を有している。通所リハビリテーションの場に多職種・多事業所が定期的に集まり、互いに連携する機会が多い。通所リハビリテーション事業所には医療必要度が高い事例にも支援することが望まれる。本稿では、通所リハビリテーションにおける、医療機関への入退院時や通院時の情報交換、外来リハビリテーションからの移行、栄養管理面での医療機関との連携などについて、2018年度の医療・介護報酬改定を踏まえて解説している。

訪問リハビリテーション 宮田昌司氏 345

訪問リハビリテーションの役割は、在宅生活の安定化や継続、個別性を尊重した活動と参加、そして人としての尊厳の保障を支援することであると考えられる。訪問リハビリテーションにおける医療・介護連携は、自宅退院する際など医療保険から介護保険へサービスを受け渡すための連携、および訪問診療が必要であることなど多くの課題を抱えながらも在宅生活を継続するためのサービス間の連携の2つに大きく分けられる。本稿では、これらの連携について解説するとともに、事例を2例提示し、訪問療法士の視点から医療・介護連携の要点を挙げている。

書評	在宅医療カレッジー地域共生社会を支える多職種の学び 21 講 (評者：辻 哲夫) 312
	症例で学ぶ脳卒中のリハ戦略 [Web 動画付] (評者：原 寛美) 344
お知らせ	リハ栄養フォーラム 2019 311
	第 6 回日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会 357
	日本関節運動学的アプローチ医学会 理学・作業療法士会 第 20 回学術集会 (大阪) 364